

新中医臨床カンファランス

2024年4月

主訴：不眠、抑うつ気分、つかれやすい、  
55歳 女性

X年4月初診

だいぶ以前から、夜間覚醒がほぼ毎日ある。  
疲れがとれにくい。特に朝起床時に疲労感がある。むくみやすい。  
抑うつ気分と不安感がある。すこしいらいらしやすい。  
足がむくみやすくてすこし冷えやすい。緊張すると汗をかくが普段は少ない。たまに寝汗がある。  
胃もたれがときどきある。

肩こりと頭痛がある。閉経52歳。腰がだるいときがある。  
仕事のストレスは少しある。仕事や家事に集中できない。  
アルコールは比較的好き。  
健診異常なし。既往症なし。

舌：淡から少し紅、白から少し黄膩苔  
脈：滑、細、弦、洪、沈

B M I : 20

55歳女性：更年期に近い、肝腎虚

起床時疲れがとれにくい：気虚、腎虚、睡眠不足、

夜間覚醒：肝鬱化火、痰熱内擾、心腎不交、心脾両虚、心胆気虚、胃気不和

抑うつ気分、不安感：肝気鬱結、気鬱化火、気滯痰鬱、憂鬱傷脾、心脾両虚、陰虚火旺

すこしいらいら：肝鬱

むくみ：風水氾濫、湿毒侵淫、水湿浸漬、湿熱？、脾陽虚衰、腎気衰微

すこし冷え：陽虚

緊張すると汗をかく：肺衛不固、営衛不和、陰虚火旺、邪熱鬱蒸

たまに寝汗がある：陰虚？

肩こりと頭痛：風寒、風熱、風湿、肝陽、腎虚、血虚、痰濁、瘀血

腰がだるいときがある：腎虚？

生理不順：気虚、血熱、虚熱、血虚、虚寒、気滯、肝鬱、腎虚

仕事や家事に集中できない：虚勞？（気虚、血虚、陰虚、陽虚）

アルコールは好き：食積？

舌：淡、白から少し黄膩苔：痰湿、少し湿熱痰熱

脈：滑、細、弦、洪、沈：虚、痰湿、肝鬱、瘀血、裏

体質（肝血虚、肝鬱気滞痰鬱、脾胃虚など）、更年期（肝腎虚）、疲労ストレス（肝鬱、肝腎脾虚）、食積などにより、肝鬱気滞痰鬱、水滞（痰熱内擾？）、心脾両虚、血虚、心腎不交などが生じて、発病？

中医病名：失眠、鬱症

弁証：①肝鬱気滞痰鬱・②心肝血虚・③水滞・④痰熱内擾？・⑤心脾両虚・⑥心腎不交？

治法：①疏肝理気化痰・②補血・③利水化痰・④清熱化痰・⑤健脾養心・⑥交通心腎

方剤：①③半夏厚朴湯、②③当歸芍薬散、①③④竹茹温胆湯、②⑤帰脾湯、①②⑤加味帰脾湯、①②酸棗仁湯？、⑥桂枝加竜骨牡蠣湯

安神薬：竜骨・牡蠣・酸棗仁・遠志・茯苓・大棗・小麦・人参など

X年4月初診時：肝鬱気滞痰鬱、水滞、血虚のために、半夏厚朴湯および当帰芍薬散2p2×開始。甲状腺機能検査。

X年5月  
甲状腺正常。つかれやすさと睡眠がやや改善した。

X年6月  
深く眠れるようになった。起床時の疲労感（－）、頭痛（－）、むくみ減少、肩こりはある。

X年7月  
体調よい。睡眠が深くなって、夜間覚醒が減少した。朝の疲労感（－）。頭痛（－）。肩こり＋－。

X年8月  
深く眠れるようになって、夜間覚醒（－）になった。つかれやすさは、すこしだけある。

X年9月  
深く眠れるようになって、夜間覚醒（－）になった。つかれやすさ（－）。左肩痛＋手が上がりにくい。むくみはだいぶ減った。当帰芍薬散、半夏厚朴湯、二朮湯処方。

X年10月  
調子よい。左肩痛改善傾向。よく眠れるようになった。